

# 三重県史

資料編

近代4  
社会・文化

# 目次

表紙題字 知事 田川亮三

凡 序 口  
例 絵

本巻の編集と資料について

## 第一部 教 育

総合解説 ..... 2

### 第一章 明治前期の教育

#### 第一節 近代教育の胎動

1 学政改革につき亀山藩知事諭達 ..... 20  
2 忍藩興讓学校につき藩主布達 ..... 21

3 神戸藩の教倫堂規則 ..... 23

4 久居義塾規則 ..... 24

5 旧学校の処置につき文部省へ伺い ..... 26

6 宮崎郷学校・語学校 ..... 26

#### 第二節 近代教育の創始

7 小学第一校規則 ..... 30

8 学制につき度会県告諭 ..... 32

9 教員仮講習所の設立 ..... 34

10 度会県師範学校 ..... 35

11 三重県の学区と小学校設立計画 ..... 36

12 三重県の学費課賦法 ..... 43

13 師範有造学校設立伺い ..... 44

14 学区取締職務定制 ..... 46

15 学齢人員御届 ..... 49

16 芝居手踊禁止の告諭 ..... 51

17 三重県小学規則 ..... 52

18 伊勢暴動による孤野学校等の罹災 ..... 56

19 三重県地誌略 ..... 60

第三節 教育令下の教育

20 専務学区取締の配置をめぐる論議 ..... 61  
21 教育令に関する社説 ..... 63  
22 三重県中学校規則 ..... 64  
23 三重県医学校の概要 ..... 67  
24 三重県第一学事年報 ..... 71  
25 鳥羽商船餐設立主意 ..... 73  
26 就学督責規則 ..... 76  
27 津中学校不敬事件 ..... 78

第二章 明治後期の教育

第一節 小学校

28 小学校設置区域・位置・資格 ..... 86  
29 津養正学校の大運動会 ..... 96  
30 片田崇広両簡易科の変更願 ..... 97

31 御真影奉戴式の挙行 ..... 99

32 教育勅語渙発一周年記念式典 ..... 101

33 三重県小学校教則 ..... 102

34 複写御真影の奉戴・保管方 ..... 108

35 度会郡高等小学校学年曆 ..... 108

36 三重県小学校教科用図書 ..... 111

37 郡視学職務規程 ..... 113

38 児童の就学・出席督励手続 ..... 114

39 教科書疑獄事件 ..... 115

40 三重県立国児学園規則 ..... 120

第二節 中等・実業学校

41 私立三重女学校の設立 ..... 122  
42 実業教育につき意見書 ..... 124  
43 尋常中学校三校増設につき県会審議 ..... 126  
44 大湊町立造船徒弟学校学則 ..... 128  
45 実業学校設立の建議 ..... 129  
46 県立高等女学校設立につき提案 ..... 131

第三章 大正期の教育

第一節 小学校

47 農学校設立懇請書 ..... 133  
48 三重県立工業学校規則 ..... 136  
49 白子町立工業徒弟学校の設立 ..... 137

第三節 師範学校

50 三重県尋常師範学校規則 ..... 139  
51 三重県師範学校養気曆 ..... 141  
52 三重県女子師範学校の創設 ..... 142

第四節 通俗教育

53 三重青年連合会規定 ..... 145  
54 観海同友会創立主旨 ..... 147  
55 青年会夜学会 ..... 147  
56 阿山郡青年団の活動 ..... 149

67 県立高等女学校卒業式における知事告辞 ..... 178  
68 第一回全国中等学校野球大会 ..... 181

第二節 中等・実業学校

57 高等科併置の事由 ..... 156  
58 御真影紛失事件 ..... 158  
59 工場労働に従事する学齢児童 ..... 160  
60 津市小学校二部制廃止問題 ..... 164  
61 部落特設学校の廃止 ..... 165  
62 芸術教育を高唱する所以 ..... 166  
63 三重盲啞学校学則 ..... 171  
64 教育学説の研究と実施 ..... 174  
65 少年少女水平社全国大会開催につき提案 ..... 176  
66 富州原町児童就学奨励規程 ..... 177

69	県下中学校の校数・定員増の必要性……………	183
70	県立工業学校拡張の建議書……………	187
71	鳥羽商船の国立移管意見書……………	188
72	増設中学校誘致運動……………	189
73	郡立学校の県立移管問題……………	194
74	実業学校の県立移管問題……………	196
75	乙種農学校に整理の斧を……………	197
76	津中学校教科書糾弾闘争……………	198
77	中等学校の入学選抜方法内規……………	204
78	県立農業補習学校教員養成所学則……………	207
79	県立蚕糸学校設立につき知事提案……………	209
<b>第三節 師範学校</b>		
80	範校事件(雑誌「血」事件)……………	211
81	第三回女教員研究発表会……………	211
<b>第四節 高等専門学校</b>		
82	三重高等農林学校誘致論議……………	216

83	三重高等農林学校規則……………	217
84	神宮皇学館の改革案……………	224
<b>第五節 社会教育</b>		
85	通俗教育方法参考書……………	227
86	三重県における処女会の普及……………	230
87	三重県青年会の結成……………	231
88	記録から見た県下陸上競技……………	234
89	体育奨励につき知事訓示……………	236
90	阿山郡婦人会規則……………	237
91	松阪第二部健児団規約……………	238
<b>第四章 昭和前期の教育</b>		
<b>第一節 小学校</b>		
92	松阪での同盟休校事件……………	242
93	子守をしながら授業を受ける惨状……………	243
94	御真影および教育勅語奉置・拝戴に関する規程……………	244
<b>第四節 社会教育</b>		
108	活動写真の巡回映写……………	285
109	三重県聯合女子青年団の結成……………	286
110	富田町女子少年赤十字団の創設……………	288
111	三重県体育協会の発会式……………	291
112	三重県社会教育委員会設置規程……………	292
113	夏期ラジオ体操の開始……………	294
114	名賀郡奥鹿野郷の活郷学園……………	294

95	教員の思想指導・監督につき通牒……………	246
96	三重県学校給食臨時施設規程……………	254
97	生命の労作教育……………	255
98	神都読本……………	258
99	三重県国民精神文化講習所規程……………	260
100	県視学の小学校視察着眼点……………	261
101	時局に関する教育施設……………	263

## 第二節 中等・実業学校

102	女子中等教育の実際化……………	268
103	軍事教練につき中等学校長答申……………	269
104	乙種農学校の不振……………	273
105	三重県実業補習教育指導奨励方針……………	277
106	四日市商工学校の設立……………	280

## 第三節 高等専門学校

107	第二拓殖訓練所の設置……………	281
-----	-----------------	-----

115	学童の神宮参拝につき県会審議……………	302
116	教育報国精神作興祈願式……………	305
117	三重県教育の三大目標……………	308
118	久居第二尋常小学校の融和教育……………	309
119	和の読本……………	313

## 第五章 戦時期の教育

### 第一節 小学校・国民学校

目次	
120	久居町誠之国民学校教育要綱……………317
121	初等科第六学年の戦時授業要目……………323
122	名古屋疎開学童の受入れ……………334

## 第二節 中等・実業学校

123	宇治山田中学校の敵前渡河演習……………337
124	津高等女学校報国隊の結成……………338
125	四日市商業学校存続につき意見書……………343
126	中等学校入学試験問題……………344
127	尾鷲高等女学校学徒動員日誌……………347
128	三重県戦時学徒動労働員要綱……………343
129	三重県戦時学徒体育訓練実施要綱……………353

## 第三節 高等専門学校

130	神宮皇学館大学昇格の儀につき申請……………356
131	県立医学専門学校設立をめぐる論議……………357

## 第四節 社会教育

132	大日本国防婦人会三重県本部の発会……………365
133	県下青年団臨時大会の宣言と決議……………366
134	青年学校義務制を要望する上申書……………367
135	三重県青少年団結成につき訓令……………368

## 第二部 社会運動

総合解説……………372
--------------

## 第一章 近代社会の成立と民衆の動向

### 第一節 明治維新と騒擾

1 騒擾の状況……………400
2 騒擾の鎮撫と米札の混乱……………401
3 佐屋宿における騒擾の風聞……………402

### 六 阿拝郡西山村騒擾

18 騒擾の状況……………423
19 教部省へ神宮届出……………426
20 騒擾関係者の処分……………428

### 第二節 賤称廃止令と被差別部落の人々

21 賤称廃止令の通達……………430
22 部落差別の撤廃を求めて……………431
23 捕亡手先につき三重県達……………435

## 第二章 資本主義の成立と社会運動

### 第一節 労働者・農民の運動

一 黎明期の労働運動
24 四日市煉瓦製造会社の争議……………438
25 南勢土木会社の争議……………439
26 三重紡績会社の同盟罷工……………442
27 木挽職工の同盟罷工……………443

目次	
17 騒擾関係者の供述……………422	
16 騒擾の状況……………421	
15 騒擾関係者の処分……………420	
14 騒擾の届出……………419	
五 牟婁郡神内村騒擾	
13 騒擾関係者の処分……………418	
12 騒擾の状況……………416	
11 修補米の免除……………416	
三 飯高郡川俣谷騒擾	
10 騒擾につき取調べ……………410	
9 騒擾の状況……………409	
8 騒擾の発生……………408	
二 伊賀騒擾	
7 騒擾関係者の処分……………407	
6 各藩から度会県出張所へ働きかけ……………405	
5 忍藩農民から度会県へ歎願……………404	
4 菰野藩の届出と弁官の達し……………403	
六 阿拝郡西山村騒擾	
3 騒擾の状況……………402	
2 騒擾の鎮撫と米札の混乱……………401	
1 佐屋宿における騒擾の風聞……………400	

目次	28
曳船会社の船夫ストライキ	444
29 笹筒職工の争議	444
30 三重紡績会社津分工場の同盟罷業	445

二 農民・漁民の騷擾

31 伊賀の小作争議	447
32 漁業権闘争	448

第二節 部落改善運動の展開

一 改米社の活動

33 改米社の規約書	450
34 改米社総代の発会式答辞	451
35 改米社への投書と断書	452
36 改米社社員心得規則と北小場規約書	458
37 浅宇田改良規約	460
38 感謝状と彰功状	463
二 その他の部落改善運動	
39 竹葉寅一郎の採用	464

第三章 社会運動の本格的展開

第一節 米騒動と鳥羽事件

一 米騒動の状況

53 阿山郡上野町(1)	502
54 阿山郡上野町(2)	505
55 安濃郡雲林院村	511
56 津市	516

二 県下の対策

57 三重県の米価調節と細民救済	524
58 米騒動につき諭告	526
59 津市の米廉売	527
60 東拓植村の米廉売	529
61 南牟婁郡の恩賜金配当	531
62 上野町の臨時救済会施設事業	533
63 神野富田殖産会社の救済措置	534

三 鳥羽事件

40 慈恵救済員規程	465
41 朝熊互盟規約と明正会会則	466
42 竹葉寅一郎の講演原稿	470
43 三重同志会の発会式	474
44 同志会創設の趣意書	476

第三節 大逆事件と崎久保誓一

45 崎久保の論説	478
46 大逆事件予審請求書	480
47 検事聴取書	481
48 第一回予審調書	486
49 第二回予審調書	493
50 第三回予審調書	494
51 大逆事件の判決	496
52 秋田監獄からの書簡	497

第二節 労働運動の台頭

64 鳥羽造船所職工の騷擾	537
65 鳥羽町と造船所の融和	539
66 鳥羽騷擾事件の公判	539

67 鳥羽造船所の工賃騒動	542
68 松阪車夫同志会	543
69 笹筒職人のストライキ	545
70 松阪木綿会社土工女の協議	546
71 伊勢鉄道の争議	547
72 伊勢表整理職工組合の争議	549
73 万古焼職工ストライキ	551
74 三重合同労働組合の創立	553
75 松阪木綿会社の争議	556
76 日本労働組合全国協議会伊勢電分会	556
77 四日市小山製陶所の争議	558

第三節 農民運動の展開

78 小作争議と白塚事件……………560

79 日本農民組合三重県聯合会の結成……………565

80 山駒事件……………568

81 立毛差押え闘争……………571

第四節 漁業権闘争と山林争議

一 立神村闘争……………574

82 真珠養殖と漁業権闘争……………574

二 森村山林争議……………576

83 賃上げから政治闘争へ……………576

84 山林争議の判決文……………578

第五節 融和事業と水平社運動

一 融和事業の推進……………583

85 三重県の融和政策……………583

86 三重県社会事業協会融和部融和委員の設置……………586

87 三重県融和青年同盟の結成……………590

88 伊勢表生産組合聯合協議会の開催……………594

89 部落経済更生運動……………595

二 水平社運動

(1) 三重県水平社……………602

90 三重県水平社の創立……………602

91 第五回三重県水平社大会……………605

92 三重県水平社青年同盟の結成……………607

(2) 差別糾弾闘争……………607

第六節 社会運動と弾圧

93 花岡事件……………607

94 津刑務所事件……………610

95 佐奈村の差別問題……………615

一 労働農民党三重県聯の創立……………618

96 松阪社会思想研究会……………618

97 労働農民党三重県準備会と創立大会……………619

二 メーデー……………619

第七節 木本事件

114 三・一三事件……………672

115 木本事件の新聞報道……………677

116 現場を目撃した児童の作文……………678

117 朝鮮総督府発表の新聞報道……………678

118 弁護士布施辰治の談話……………680

119 在日朝鮮人団体の檄文……………681

120 予審決定書……………683

第四章 ファシズムと戦時下の

社会運動

第一節 労働運動の推移

121 労働運動の状況……………690

122 四日市帝國館の争議……………691

123 伊勢電鉄ストライキ……………692

124 三重愛国従業員組合聯盟の結成……………695

98 県下初のメーデー……………623

99 昭和恐慌下のメーデー……………624

100 満州事变下のメーデー……………626

101 三・一三大検挙直後のメーデー……………626

102 戦前最後のメーデー……………627

三 選挙活動……………629

103 普選初の県会議員選挙……………629

104 普選初の衆院議員選挙……………632

105 婦人参政権の請願……………635

106 一八歳以上の男女に参政権を与えた例……………636

四 弾圧事件……………637

107 三・一五事件……………637

108 検挙者奪還デモと佐川の脱走……………639

109 坂本俊一郎の訊問調書……………644

110 大澤茂留置所内怪死事件……………651

111 四・一六事件……………654

112 野口平民事件……………659

113 五・二二事件……………668

125 岸和田紡績津工場の争議……………699

第二節 農民運動の推移

126 日農県聯から全農県聯へ……………704

127 全農全国会議派三重県評の活動……………705

128 全農総本部への復帰と活動……………706

第三節 融和運動の推移と水平運動

一 融和運動

129 財団法人三重県厚生会の設立……………709

130 地方改善施設費補助事業……………716

131 融和事業協議会事項書……………724

132 同和奉公会三重県本部の設立……………728

133 同和奉公会三重県本部第一回協議会……………733

二 朝熊区制差別糾弾闘争

134 朝熊区有財産問題……………737

135 協定書……………740

136 要求書……………741

137 朝熊差別区制糾弾闘争ニュース……………742

138 朝熊区制問題につき県回答……………746

三 水平社運動

139 地方改善応急施設と水平社運動……………747

140 部落委員会の活動……………749

141 金鶏同盟の結成……………754

142 全国水平社三重県聯合会の解散……………755

第四節 社会運動と弾圧

一 総選挙と社大党三重県聯の創立

143 反ファッショ選挙……………757

144 社会大衆党三重県支部聯合会……………760

二 弾圧事件

145 県内左翼運動家の一斉検挙……………771

146 人民戦線事件……………773

147 開戦直後の検挙……………776

第五節 在日朝鮮人問題と三重県協和会

148 鳥羽内鮮親和会の結成……………781

149 木本進栄会の夜学塾……………783

150 三重県協和会要覧……………786

第三部 生活・文化

総合解説……………794

第一章 明治前期の生活と文化

第一節 秩禄処分と士族授産

一 秩禄処分

1 龜山藩の家禄制改正……………814

2 婦農商出願の資金給与につき鳥羽藩伺い……………815

3 家禄奉還願い……………816

4 旧卒族の復禄出願処分願末……………819

5 旧津藩卒族の士族編入運動……………821

137 朝熊差別区制糾弾闘争ニュース……………742

138 朝熊区制問題につき県回答……………746

三 水平社運動

139 地方改善応急施設と水平社運動……………747

140 部落委員会の活動……………749

141 金鶏同盟の結成……………754

142 全国水平社三重県聯合会の解散……………755

第四節 社会運動と弾圧

一 総選挙と社大党三重県聯の創立

143 反ファッショ選挙……………757

144 社会大衆党三重県支部聯合会……………760

二 弾圧事件

145 県内左翼運動家の一斉検挙……………771

146 人民戦線事件……………773

147 開戦直後の検挙……………776

6 復禄の儀につき県令伺い……………825

7 家禄処分に関する訴訟……………828

二 桑名共立社

8 旧桑名藩士族の就産資金拝借願い……………832

9 資金借用の儀につき県令伺い……………835

10 共立社の経営難……………836

第二節 宗 教

一 度会府の神仏分離

11 廃仏毀釈ではない旨の布達……………842

12 仏名使用の地名改称……………843

13 神葬祭への改め願い……………843

14 神葬祭の許可……………844

15 寺請の廃止と還俗の奨励……………845

16 統出する還俗・廃寺願い……………845

17 寺院の存続願い……………846

18 還俗願いと神葬祭への説諭……………847

19 内宮祠官氏寺の神仏分離……………848



20 行幸と寺院の本山への歎願 ..... 849

21 本山知恩院から弁事役所へ願ひ出 ..... 851

22 神領葬祭略式 ..... 853

23 元帰神隊員からの歎願 ..... 857

二 神宮の改革と師職制度の廃止

24 浦田長民の神宮改革建白 ..... 858

25 新大宮司の任命と神宮改革処分 ..... 863

26 神宮司庁職員の配置 ..... 865

27 師職の禁裏御所大赦・大麻献納差止め ..... 871

28 師職の御撫物返上と御祓献上停止 ..... 872

29 師職廃止の概要 ..... 873

30 神宮司庁から大麻頒布 ..... 882

31 神宮を東京に遷す建言 ..... 884

32 宇治山田騒擾(和泉半事件) ..... 886

33 神苑会と神宮神域の拡張 ..... 892

三 仏 教

34 仏教改革運動 ..... 896

35 県下仏教会の景況 ..... 898

36 真宗高田派の活動 ..... 899

四 キリスト教

37 津藩預かりの浦上キリシタン ..... 901

38 和歌山藩預かりの浦上キリシタン ..... 904

39 日本キリスト教波瀾講義所の創設 ..... 906

第三節 文明開化

40 度会新聞の発刊願ひ ..... 921

41 河曲郡神戸の新聞縦覧所 ..... 922

42 県下初の山田博覧会 ..... 923

43 三重県公園の開設 ..... 927

44 人力車取締規則 ..... 928

45 裸体の嚴禁 ..... 930

46 天長節祝祭に電気灯 ..... 930

第四節 郵便・電信

47 近代郵便の創業 ..... 931

48 県内郵便取扱所設置と郵便通送 ..... 933

49 郵便取扱所の設置と取扱人の任命 ..... 936

50 郵便取扱状況一覽 ..... 938

51 郵便為替の取扱い開始 ..... 943

52 郵便貯金の始まりと貯蓄推進 ..... 943

53 電信の取扱い開始 ..... 946

54 一身田局電信設置の状況 ..... 948

55 電話の開始 ..... 948

56 鳥羽・神島間に世界最初の無線電話 ..... 950

第五節 衛 生

57 三重県公立病院の沿革 ..... 952

58 コレラ予防および患者取扱心得 ..... 954

59 明治初期におけるコレラへの恐怖心 ..... 957

60 コレラ大流行につき県会の対応 ..... 959

61 二見浦海水浴場開典の祝文 ..... 961

63 明治一八年七月の風水害 ..... 966

第二章 明治後期の生活と文化

第一節 戦争と県民生活

一 日清戦争下の状況

64 従軍志願 ..... 968

65 戦時救護資金および物資の募集 ..... 969

66 日清戦争時の軍事郵便 ..... 971

67 応召兵士の留守家族救助歎願書 ..... 974

68 軍事公債募集に無関心な市民 ..... 975

二 日露戦争下の状況

69 出征軍人への毛布寄贈運動 ..... 976

70 慰問袋の寄贈 ..... 977

71 津市に開設の傷病兵療養所 ..... 977

72 各団体の軍事救護活動 ..... 978

73 日露戦争と愛国婦人会活動 ..... 979

第六節 災 害

62 明治三年九月の風水害 ..... 982

第二節 北海道移住

74 幌向原野三重団体岩田組の概況……………980

75 三重団体開墾地の状況……………983

76 三重県人の北海道移住状況……………987

77 屯田兵の採用者……………990

第三節 宗 教

78 三重県国民仏教団……………991

79 県下仏教徒の大同団結……………992

80 神社合祀……………993

第四節 文 化

81 交友社の創始と沿革……………997

82 我が国初の風景保護請願……………999

83 三重慈善音楽会……………1005

84 赤目保勝会……………1007

85 鈴酒舎遺跡保存会……………1009

86 明治後期の県下文芸界……………1011

87 各地の史談会とその事業……………1025

88 県下初の電気作用活動大写真……………1028

89 津電灯株式会社の本電灯点火規程……………1029

第五節 災 害

90 明治二九年八月の台風被害……………1033

91 明治三二年七月の暴風雨被害……………1034

92 大正元年九月の台風被害……………1035

93 大正二年一月の暴風による漁船遭難……………1036

第三章 第一次大戦後の生活と文化

第一節 シベリア出兵と県民生活

94 村社神職に臨時手当支給……………1038

95 米価高騰につき外来消費奨励……………1038

96 農家および米穀商所有米の放出勧告……………1039

97 出征軍人家族の悲劇……………1041

第四節 衛 生

110 日本赤十字社三重支部山田病院の設立……………1076

111 ペスト病の流行……………1078

112 スペイン風邪の流行……………1083

第五節 災 害

113 大正一〇年九月の台風被害……………1086

114 参宮線急行列車の転覆事故……………1089

第四章 戦時下の生活と文化

第一節 戦時下の県民生活

一 昭和恐慌下の状況

115 増える失業者……………1094

116 各種の救済事業……………1096

117 婦女子出稼者の調査……………1100

118 労働者等の失業状況……………1103

98 代用食の奨励……………1043

99 職業婦人調査……………1044

第二節 海外移住

100 在米片田村人会……………1048

101 三重県海外協会の設立……………1052

102 三重県海外移住組合……………1058

第三節 文 化

103 常設映画館の始まりと取締り……………1065

104 津市内で上映された映画……………1067

105 活動写真フィルム検閲規定……………1068

106 ラジオ放送聴取会と取締通牒……………1072

107 南紀の「新しき村」……………1073

108 県名勝旧蹟保存費補助規程……………1073

109 県史蹟名勝天然記念物保存顕彰規程……………1074

二 統制下の生活

119 戦争の拡大と生活統制 ..... 1104

120 地方娯楽調査資料 ..... 1106

121 国民徴用令に基づく徴用の一例 ..... 1110

122 あるもので「間ニ合セ」運動 ..... 1114

123 料理店転廃業につき申請 ..... 1115

124 決戦下の生活実践 ..... 1119

125 農村勤労奉仕状況調べ ..... 1123

126 戦争生活に関する世論調査 ..... 1127

127 挺身隊員からの歎願 ..... 1143

128 ヒマ栽培運動 ..... 1144

129 疎開受入収容施設の調査 ..... 1145

130 川合村八太区長日誌 ..... 1146

131 宇治山田市宮後の警報記録 ..... 1153

132 三重県人の海外在住状況 ..... 1163

133 満州神路郷の建設要項 ..... 1163

134 荻原村移住民条例と神路郷建設協会 ..... 1165

135 第一神路郷の入植状況 ..... 1174

第三節 文化

一 学 芸

136 三重博物館の設立 ..... 1176

137 三重地理学会の発足 ..... 1179

138 安濃津郷土史会の創立 ..... 1181

一一 文化活動等の統制・弾圧

139 三重文芸協会の結成 ..... 1182

140 三重音楽文化協会の設立趣意書 ..... 1186

141 三重県紙芝居文化聯盟の設立趣意書 ..... 1188

142 翼賛文化運動の状況 ..... 1191

143 三重県翼賛会美術協会の発足 ..... 1192

144 三重県翼賛俳句協会の設立 ..... 1193

145 聖公会桑名教会への警告 ..... 1194

146 本門仏立講尾鷲道場への弾圧 ..... 1196

第二節 海外移住

147 プロレタリア文学活動への弾圧 ..... 1197

148 郷土新聞の合併 ..... 1201

149 夕刊の休止 ..... 1202

150 伊勢新聞と中央紙の合同 ..... 1202

あとがき

付 録

三重新聞(第一号)

度会新聞(第一号)

伊勢新聞(第一号)

第四節 災 害

一 台 風

151 昭和六年一〇月の台風被害 ..... 1205

152 昭和九年九月の室戸台風 ..... 1208

153 昭和一三年八月の大雨被害 ..... 1212

一一 東南海地震

154 県震災復興本部の設置と諭告 ..... 1215

155 震災につき内政部長通牒 ..... 1217

156 東京大学地震研究所による津波調査 ..... 1220

157 昭和大津波記録 ..... 1229

資料提供者および協力者

## 口絵目次

- |    |                          |    |                        |
|----|--------------------------|----|------------------------|
| 1  | 明治七年・伊賀上野博覧会の図           | 16 | 学徒勤労働員                 |
| 2  | 同博覧会物品録                  | 17 | 津高等女学校の軍事教練            |
| 3  | 大正七年・米廉売券                | 18 | 養正小学校の奉安殿              |
| 4  | 日本農民組合旗                  | 19 | 大日本国防婦人会おほろ分会の発足       |
| 5  | 小学区の印                    | 20 | 松阪中座の三重県水平社大会          |
| 6  | 度会郡江村学校旗                 | 21 | 戦前最後のメーデー              |
| 7  | 三重県第三中学校（現・三重県立上野高等学校）全景 | 22 | 労働農民党三重県聯合会創立大会ポスター    |
| 8  | 県内発行の諸雑誌                 | 23 | 明治三〇年ごろの一身田郵便局員        |
| 9  | 県下初の四日市学校                | 24 | 尾鷲病院の人力車               |
| 10 | 三重県医学校新築落成式              | 25 | 大正期の映画館チラシ             |
| 11 | 三重県女子師範学校実験室             | 26 | 戦時下の米穀配給所              |
| 12 | 津市弓ノ町当時の国児学園             | 27 | 大日本婦人会の慰問袋製作           |
| 13 | 創立ごろの三重高等農林学校            | 28 | 軍刀供出ポスター               |
| 14 | 尾鷲の日露戦争祝勝運動会             | 29 | 大正一二年・参宮線事故            |
| 15 | 津市立技芸女学校テニス部             | 30 | 昭和一九年・東南海地震、津市東紡池付近の被害 |